

## 2 授業の実際

### 【1時間目】 社会科の先生との協力授業を通しての自己課題の設定

どの国を調べるか、自己課題を設定する。：アジアの国のものしり博士になろう。

#### 社会科の先生との協力授業

- 社会科の先生にアジアの6ヶ国(Korea, China, India, Philippines, Singapore, Thailand)の説明をしてもらい、生徒の興味・関心を喚起した。(写真1)  
なお、次は生徒の感想である。

- 社会科の授業で学習した以外のことも知ることができて、よかった。中国の衣装に興味をもったのでインターネットで調べてみたい。
- インドについては学習していないので、もっと知りたい。



#### どの国の何について追究したいのかの自己課題の設定

- 説明を聞いた後で、生徒は調べたい国の第一希望と第二希望を紙に書き、その国の何について調べるかも書いた。(資料1)
- 効果的な発表について話し合い、次のような意見が出された。

- ただ発表するだけでなく、絵、写真、衣装なども着て現実味を出して説明しては。(方法は班のアイデアに任せる。)
- 発表後、Q&Aを設けると一方的でなくなると思う。

- 英文が作成しやすいよう、発表時のサンプルの表現を示した。また、口頭でも十分に練習した。(資料2、3)

#### 資料 1

- 1 説明を聞いた国で、興味をもった1番目と2番目の国をあげなさい。
- 2 その国の何に興味がありますか。
  - A 場所、人口、国旗、特産物等
  - B Cloths (民族衣装等)
  - C Food (伝統的な食べ物等)
  - D Music (伝統音楽等)、芸能面等
  - E 歴史上の人物、建築物、仏像等
  - F Language
  - G 政治、経済

#### 資料 2

Our country is \_\_\_\_\_ .  
 This is \_\_\_\_\_ flag.  
 There are \_\_\_\_\_ people  
 in our country.  
 Our native language is \_\_\_\_\_ .  
 \_\_\_\_\_ is famous for \_\_\_\_\_ .  
 The Japanese borrowed some  
 ideas form our culture, such as  
 \_\_\_\_\_ .

#### 資料 3

< 発表を聞いて困ったとき >  
 もう一度言ってほしい時  
 Say it again, please. / Pardon ?  
 大きな声で言ってほしい時  
 Could you speak a little louder ?  
 ゆっくり話してほしい時  
 Could you speak a little slower ?

#### < 1時間目の授業と2時間目の授業の橋渡し >

- 放課後、学級委員から意見を聞き、生徒本人の希望、人間関係、英語の力、リーダー性、男女のバランスなどを考慮して、グループ活動の班を決定した。